



mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～

14日はいよいよ卒業の日

来週の14日はいよいよ卒業証書授与式。

卒業生は、「新しい生活への希望」と「もう少しここにいたい」という気持ちの狭間で揺れ動く、忘れ難い日に。1年生・2年生は、卒業生の思いと残した伝統を受け止め、「ご苦労さまでした。後は我々に任せて安心して卒業してください」と、背中をしっかりと押してあげる日にしましょう。そして、そんな1年生2年生に背中を押され、想いを決して、堂々と立派に卒業して行ってください、3年生のみなさん。

式のみでなく、3月14日が、すばらしい「卒業の日」となるよう、みんなが心がけてその1日を創っていきましょう。

今年も2年生が、心を込めて会場準備をしてくれました。



「mIRaI 安心メール」についてのお知らせ



「mIRaI 安心メール」につきましては、いろいろとご協力をいただきありがとうございます。会員登録の削除について連絡とお願いをさせていただきます。

3年生の保護者のみなさまは、この3月をもって会員終了となりますが、1・2年生の保護者のみなさまに関しましても、この新年度始業式を前に一旦会員登録を削除させていただき、その後新たに登録をしていただくようになります。お手数をおかけしますが、システムの都合上、その方がスムーズに移行できますので、ご理解をよろしくお願いいたします。

なお、削除につきましては、学校の方で一律にさせていただきます。4月の始めには会員削除を行いますのでお知りおきください。

7日に表彰されました



7日の朝礼で次の人たちが表彰されました。既に紹介しているものもありますが、改めておめでとう！

表彰者

- 備前ライオンズクラブ
善行賞＝正部 智也、田中 淳稀
奨励賞＝生徒会執行部
- 県下小中学校書き初め展覧会
金賞＝新田 愛菜
銀賞＝柴田 愛梨、延兼穂乃香
銅賞＝小幡 葉月、寺崎明日香
- 漢字検定・英語検定合格者



3年生のみなさんへ

3年生のみなさん、並びに保護者のみなさま、「mIRaI 通信」も、今号と「3年生スペシャル号」でいよいよお別れです。ここまでご愛読ありがとうございます。おかげさまで昨年度よりさらに号数が伸びました。出過ぎて逆に迷惑、というくらいの発行数でしたが、中学校生活の日常の記録としてずっと取っておいていただけると感涙です。いつか見返して懐かしんでください。今後は、ホームページで違う立場でご愛読ください。



あるお手紙より ~いつでもあの頃に~



手前味噌で申し訳なく、恥ずかしい思いもあるのですが、かつてある保護者の方からいただいたお手紙を紹介させていただきます。

私がなぜここまで通信を書き、多くのことを伝えようとするのか、そこにどんな想いがあるのかを、ある意味私以上に理解してくださっていたお手紙です。手紙の中には、通信の綴りが一生の宝物とまで書いてくださっていたのですが、このお手紙こそが私の一生の宝物です。



卒業していくみなさんが、この先の人生をしっかり生き抜き、ふと疲れた時、あの頃の中学校生活に思いを馳せるきっかけとなり、また元気が出る助けとなれば、こんなにありがたいことはございません。まあそこまで望外なことは思っていないんですが（少しは思ってますけどね）、できるならばいつまでも大切にとっておいてくださいね♡

先日…息子の部屋（この春から大学に通うため一人暮らしを始めました）を片付けていたら、中学生時代の学年通信の綴りを発見し…いなくなった息子の部屋で読み返していると、泣けてきました。一中略一 何気なく過ぎていく日々を、一つ一つ大切に書き残して下さっていたおかげで、数年経った今でもその時のことがはっきり思い出されます。一中略一 息子がもっと大人になった時、記憶が薄らいだとしても、この部屋に帰ってきた時、読ませてあげたいと思います。



ザ・ラスト授業風景



最後のチャイムが鳴る…中学校3年間の授業の最後のチャイム。義務教育9年間の最後のチャイム。3年生のみなさんは、どのような想いでそのチャイムを聴いたでしょうか。

8日の5校時、最後の授業をしている3年生の教室を訪ねました。3年生の担任の先生が、自分のクラスでなく片方のクラスの授業をしていました。

見た感じはいつも通り、和気あいあいと、淡々と、静かに時間は流れていっていました。もちろん心の中までは見えませんから、心中はわかりませんが。

終わりを迎え、いつもと同じように過ごせるということは、「心の強さ」なのかもしれません。この3年間で「心」も大きく成長したということでしょうか。そうなら嬉しい限りですね。



高校へ進学すれば授業自体は続くわけですが、その意味は大きく違ってきます。「義務教育」として、みんなにとっては「権利」として学習してきたわけですが、ここから先は、「まだ勉強しよう」という自分の意志で受ける授業となっていきます。当然求められるものもより厳しくなります。伊里中学校で鍛えた「心」「基本」を土台に、さらに勉強を深めていってください。

人生まだまだ勉強だ！もちろん私たちもね。お互い頑張っていきましょう。

